

## 令和 7 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	23	豊田市立 加納小 学校	代表	小笠原明恵
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域に愛着をもち、人と関わる力を育む	分野	b	地域連携
	サブテーマ 生活科・総合的な学習の時間を核にして	（その他）は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>本校は、豊田市の北西部の農村地帯に位置する小規模校である。桃や梨の生産や伝承芸能「棒の手」の盛んな地域である。例年、4月には、地域の行事『観桃会』が行われ、県内のみならず県外からも多くの人々が訪れる。地域は、学校の活動に対して大変協力的である。児童は比較的小となしく、素直である。こうした長所がある半面、積極的に周囲と関わっていかうとする力が弱かったり、主体的に課題を解決していかうとする態度が十分に育っていない。たりする。</p> <p>そこで、加納地区の地域の素材を生かした活動に特化し、主体的に課題を解決していく学習を位置づけ、地域に愛着をもち、人と積極的に関わる力を育んでいく。具体的な目標を次のように設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化や素材を生かした課題解決学習を充実させ、地域への愛着を深める。</li> <li>・課題を解決する過程において、人とのかかわりを大切にする。</li> </ul> <p>上記の目標を達成するために、学校図書館司書を配置し、書籍による調査活動などを支えていく。また、校地内の畑を活用して、地域の農業を生かした学習を進めるための支援として、校内整備員を配置する。</p>			
活動内容・計画	<p>○地域素材を積極的に取り入れた単元展開を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生 生活 昔の遊び</li> <li>・2年生 生活 学区探検 野菜作り</li> <li>・3年生 総合 地域の自慢、桃づくり</li> <li>・4年生 総合 地域の環境学習</li> <li>・5年生 総合 地域の文化・風習を学ぶ活動 伝承芸能「棒の手」「ざんざ節」</li> <li>・6年生 総合 地域や学校をよりよくしようとする活動 伝承芸能「棒の手」「ざんざ節」</li> </ul> <p>○1年生は、地域の方々から、昔の遊びを教えていただいている。昔の遊び名人の先生として定着している。2年生は、学区探検による地域自慢や野菜作りに取り組んでいる。野菜作りは、地域の野菜作り名人に教わっている。3年生の桃づくりでは、桃農家の組合から毎年1名、本校の講師としてお招きしている。摘花・袋かけ・収穫といった活動を児童に教えてくださっている。4年生の環境学習では、校区の豊かな自然の特徴を調査し、自然を守る人々の思いに触れる学習に取り組んでいる。5年生は、地域の文化や風習を学ぶ活動をしている。6年生は他学年に本校の良さを伝える縦割り活動に取り組んでいる。また、クラブ活動では地域の芸能である和太鼓の伝承に取り組んでいる。</p>			
補助員配置	<p>○学校図書館司書：書籍を活用しての調べ学習に対する支援</p> <p>○校内整備員：畑での野菜作りの支援</p>			
実績・期待される効果	<p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の指導により伝承芸能「棒の手」や「ざんざ節」に取り組み、運動会で発表することにより、児童の郷土文化の理解が深まるとともに、地域と学校とのつながりが深まった。</li> <li>・桃や野菜作りなど、地域の農家と関わりながら栽培することで、農家の仕事や思いに接することができた。</li> </ul> <p>○予想される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科や総合的な学習の時間を通して、地域の良さに気づき、地域への愛着が深まる。</li> <li>・地域の人と関わることで、積極的に人と関わっていかうとする態度が身に付く。</li> <li>・主体的に課題を解決する力が育まれる。</li> <li>・地域と学校との協力体制が強固になる。</li> </ul>			
検証方法	<p>○生活科や総合的な学習の時間の児童記録</p> <p>○保護者アンケート</p> <p>○関わってくださった地域の方の言葉</p>			